

グノー作曲 「ロメオとジュリエット」

主な配役

ジュリエット：ソプラノ

ロメオ：テノール

ローラン修道士：バス

そのほかの登場人物

パリス

ティバルト

キャピュレット

ジェルトリュード

メルキュシオ

グレゴリオ

ステファアーノ

舞台：14世紀イタリアのヴェローナ

プロローグ：モンタギュー家とキャピュレット家の血なまぐさい争いとそのために起きた悲劇について人々が話題にしている。

第1幕：キャピュレット家の館：ジュリエットの誕生日を祝う仮面舞踏会

キャピュレットの甥、ティバルトがパリスの結婚相手に選ばれたジュリエットを賛美して歌う。そこにジュリエットが父親に伴われて現れ、客人に娘を紹介する。客たちが踊りに行ってしまうと、そこに仮面をつけたロメオが友人ベンヴォリオ、メルキュシオとともに物陰から現れる。ロメオの心配を意に介さずに、そのような恐れは夢をつかさどる女王マブにたぶらかされているからだと歌う。だが、ジュリエットの姿を一目見るなり、ロメオはその美しさのとりこになる。乳母のジェルトリュードが立ち去るとロメオはジュリエットがキャピュレットの娘であると思わずに、愛を告白する。彼女もそれに答えるが、従兄弟のティバルトが現れたことで、ロメオはジュリエットがキャピュレットの娘であることを知る。

第2幕：キャピュレット家の庭、夜

ロメオは友人たちにそそのかされ、従僕ステファアーノの助けを借りてキャピュレット家の庭に忍び込む。バルコニーに出てきたジュリエットとロメオの愛の語らい。

第3幕：第1場：ローラン修道士の僧房

ロメオとジュリエットはローラン修道士に二人を結婚させて欲しいと願う。ジェルトリュードも参列し、結婚を祝う。

第2場：キャピュレット家の門前

ステファアーノがキャピュレット家を嘲笑したことをきっかけに、喧嘩が始まり、ティバルドとメルキュシオの決闘に発展する。メルキュシオの負傷で、ロメオがティバルドを刺し、ティバルドは死ぬ。そこへヴェローナ大公があらわれ、ロメオをヴェローナから追放する。

第4幕：第1場：ジュリエットの寝室

ロメオがジュリエットに別れを告げに来る。そして二人は愛を確かめ合う。朝になり、キャピュレット家の当主がローラン修道士を連れて入ってくる。今日中にパリスと結婚させるためである。ジュリエットはローラン修道士に頼んで、仮死状態になる薬をもらい、飲み干す。

第2場：キャピュレット家の広間：結婚式

結婚式で、パリスの待つ祭壇まで来たときに、ジュリエットは床に崩れ落ちて、あたかも死んだようになる。

第5幕：キャピュレット家の地下の埋葬室

ジュリエットは墓の上に寝かされている。そこに来たロメオは、ジュリエットが本当に死んでしまったと悲しみ、毒をあおる。そのときジュリエットが目を覚まし、二人はかたく抱擁するが、ロメオは毒を飲んだことを話し、意識を失ってゆく。そして…